

# 牧羊ひろば

## 羽ノ浦キリスト教会・教会学校

はじめに

羽ノ浦キリスト教会は、昨年創立50周年を迎えました。羽ノ浦町は、四国徳島県の南部に位置し、田園風景の広がる、のどかで温暖な地域です。徳島市へ車で30分という利便性もあり、住宅地として人気があり、人口1万2千人の町にしては、住みやすくまとまっています。

羽ノ浦教会の教会学校も、昔は、分校が三つほどあり、大勢の子どもたちが集う集まりであったようですが、現在は、クリスチャンホームの子ども、あるいは、どちらかの親がクリスチャンの子どもが中心になっています。人数も、現在、常連のメンバーは、幼小科7人、中高生科7人の、合わせて14人で、新しい子どもへのアプローチに課題があります。

### 毎週の教会学校

〈幼小科〉

毎週日曜日の朝9時から、10時までが教会学校です。賛美や、献金の後、全体でのメッセージが

あり、その後、分級でみ言葉カードを貼<sup>は</sup>り、小学生はワーク、幼稚科は工作などをします。全体メッセージは、4人の教師が、交代で準備して語ります。数年前から復活し、大切にしているのは、暗唱聖句で、毎月一つのみ言葉を覚えさせます。3歳のお友だちが、一生懸命みんなと一緒に覚えようとする姿にいつも励まされ、小学生たちも、頑張っているところです。

カード帳が一杯(52枚)になると、千円までのプレゼントがもらえるというのも、人気です。

〈中高生科〉

毎週9時半から、聖書研究のようなスタイルで中高生科をしています。今日のテキストの箇所をみんなで輪読した後、教師の質問に答えながら理解を深めていきます。が、このころ、集合時間が遅れ気味で、なかなか自分たちで考え、聖書から導かれるということが難しく、教師が答えを提示することが多いということです。中高生科には、献金はなく、ジュースなどを飲みながら、リラックスして行い、できるだけ、その後の礼拝に出席するように勧めています。

昨年は、その中から、1名の高校生が、一昨年は、3名が受洗に導かれました。本当に感謝です。幼い時から育てられた子どもたちが、確実に捕えられ、主に従いゆく者とさせていただけるよう、これから、祈りつつ奉仕させていただきます。

また、子どもの信仰の成長や、信仰告白のために、四国教区で持たれているバイブルキャンプが、

大いに用いられている事も、感謝をもって、あわせて報告させていただきます。

### 年間行事

〈工作教室、料理教室〉

一年間に2、3回だけですが、土曜日に、工作教室や、料理教室を行い、いつもは教会学校に來ていないお友だちも参加しやすい場にした、と考えてきました。

昨年冬には、生キャラメル作りをし、好評でした。その他今までに、料理では、クッキー、蒸し



工作教室・生キャラメル作り



一日夏期学校・ダンボール工作

毎年、8月上旬1泊2日で、キャンプをしています。1時間弱で行ける野外活動センターは、自然に囲まれ、使い勝手も

毎年1回、ゴールデンウィークに、お弁当持ちで、森林公園や海岸へ出かけています。教会学校生徒だけでなく、教会全体に呼びかけ、いろいろな世代の人たちで、出かけることが多くなりました。春の一日をのんびり楽しく過ごします。

パン、肉まん、そば打ち、げんこつあめ、チョコレートトリュフなど。工作では、案山子づくり、竹馬づくり、リース作り、独楽、凧、ドングリころがし、など、いろいろなアイデアで、楽しい時を持ちました。新しい子どもも参加してくれるのですが、教会学校につながるというところまでは、なかなか行かない現状です。講師には、教会学校教師の同僚や友人、教会とつながりのあるノンクリスチャンの方々も、沢山協力してくださいます。

#### 〈遠足〉



一日夏期学校・焼パン作り

上げるための分級を、準備してきました。キャンプファイヤーやキャンドルサービスでは牧師先生に語っていただき、普段と違う環境のなかで、神様のお話を聞きます。と、同時に楽しいプログラムも多く、特に工作の時間は、普段はできない大がかりなことにも取り組みました。ペットボトルロケットを飛ばしたり、大きなビニールロケットを作ったり、あるいは、いろいろな講師の方をお招きしてのストーンアート、木工細工、紙粘土づくり等々が、こどもたちに、楽しい思い出を与えてくれました。バーベキューや、みんなで手伝う食事作りも楽しみの一つです。

よく、度々利用させてもらっています。例えば、教師会で、テーマを決め、子どもたちに伝えたい聖書箇所から、2回のメッセージと、掘り下

が完成しました。昼は教会のガレージでバーベキューや焼きパンを楽しみました。はじめは小学生対象だったキャンプでしたが、成長してきた中高生や大学生が、参加するようになり、リーダー的存在となつてゲームや工作を盛り上げてくれました。初めての子どもも5名ほど加えられました。

#### 〈子どもクリスマス〉



子どもクリスマス会



子どもクリスマス会



子どもクリスマス会

ました。いつもの教会学校の中で準備を進めるので、時間が足らず、いつもはらはらしますが、本番では、毎回上手くまとまるのが不思議です。12月の第二土曜の午後に、子どもクリスマス会をしました。



クリスマス会・マジックショー

す。羽ノ浦町の小学校2校に前日チラシを配り、呼びかけます。昨年は40名の子どもたちが参加し、感謝でした。福田勝敏先生のクリスマスメッセー

ジに耳を傾け、真剣に聴く子どもたちの顔が印象的でした。そして、ゲストによるマジックショーで楽しみました。そこから新しくつながる子ども

## 今後の祈りと課題



中高生食事会

「中高生食事会」  
毎年春と、お正月の2回、教会学校教師宅で、食事会をし、トランプやウノなどで親睦を図ります。

① 今、与えられている子どもたちに、毎週の教会学校を通して、神様の愛と真実を心から伝え、子どもたち一人一人が「私の主、私の神」と告白し、自らの信仰へと結びつけられるように祈ります。

② 新しい子どもたち、保護者へのアプローチの方法を開拓すること。特に今、感謝な事に、新会堂の計画が進められています。この機会に良き方法が与えられるように祈ります。

③ 新しい奉仕者が与えられるように。現在、奉仕者は幼小科4名、中高生科2名ですが、皆、中高年です。今、新しい方が与えられそうに感謝しています。奉仕者として、成長され、次の時代を担ってくださるよう祈ります。

(文責 多田みどり)

## 「おわりに」

『牧羊者』二〇一〇年度第一巻をお届けできますことを感謝します。執筆の方々には、年末年始のあわただしい中を執筆していただき、心から感謝いたします。まず「二〇一〇年度カリキュラム解説」を記し、教師養成講座には、日本ホーリネス教団 東京中央教会牧師の錦織寛先生の「説教：子ども心をつかむお話し(2)」を掲載させていただきました。

牧羊ひろばでは、羽ノ浦キリスト教会のこれまでの歩みと、現在の活動状況を紹介していただきました。終わりに今号の執筆者、奉仕者を紹介いたします。

聖書講解 水川武志師 大頭眞一師 福井文彦師  
研究資料 中島啓一師 宮澤清志師 井上義実師  
メッセー ジ例 松浦みち子師 飯田勝彦師 和田治師  
田上篤志師

ワーク(A) 吉田美穂師 鎌野 幸師

(B) 野勢かほる師 佐藤直哉師

(C) 小泉 創師 田代美雪師

(D) 上森恭子師 竹崎光則師 杉山俊一師  
(中高科) 朝川清英師 石田高保師

子ども聖書日課

フラッシュカード 小野淳子師 藤井洋美師

イラスト 伊中めぐみ姉 テープ起し 長尾明美師

ワープロ打ち込み

楠淳子師 長尾明美師  
正 長田栄一師 光田隆代師 加藤 清師

また、陰で労してくださった各師と兄弟姉妹、ワーク印刷と発送のベラカ出版、印刷のあくもと菱三印刷に心から感謝いたします。(長尾秀紀)

## 聖書教育 教案誌 牧羊者

二〇一〇年度 I巻

二〇一〇年四月一日発行

発行所 有限会社 ベラカ出版

企画監修 日本イエス・キリスト教団教会学校局

神戸市兵庫区塚本通三―三―一九

電話(〇七八)五七五―五五一一

FAX(〇七八)五七五―五六一一

印刷所 菱三印刷株式会社

電話(〇七八)五七六―三九六一

\*日本聖書協会『口語訳聖書』使用許諾済み